



お客様の「あつたらいいな」を超えて、
日常の未来を生みだし続ける。

2026年3月期第2四半期

決算説明資料

Financial Results for the Second Quarter of Fiscal Year 2025

TODAY'S AGENDA

AGENDA

01

2026年3月期
第2四半期決算

AGENDA

02

事業別主要計数

AGENDA

03

2026年3月期
業績予想

AGENDA

04

上期の振り返りと
成長戦略

AGENDA

05

APPENDIX

AGENDA

01

2026年3月期
第2四半期決算

2026年3月期第2四半期決算のポイント



業績概況

連結・単体ともに増収減益



国内ATM事業

台数は計画比やや未達も
引き続き利用件数は伸長



国内リテール事業

ローン残高は計画通りに増加
セブンカードは会員数減少も、
足元の申込数は計画を上回る



海外事業

米国の事業は堅調
アジア各社は計画を下回る

2026年3月期第2四半期決算

損益状況【連結】

経常収益

セブン銀行単体を主因に増収

経常利益

セブン銀行単体の費用増を主因に
前年比減益も、米国の上振れや
セブンカードの影響で計画比上振れ

	当期実績	前年同期実績	前年同期比	計画比
経常収益	1,075億円	1,062億円	+1.2%	+1.4%
経常費用	927億円	895億円	+3.5%	△0.8%
経常利益	148億円	167億円	△11.3%	+18.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	99億円	109億円	△9.1%	+23.7%
EBITDA	305億円	306億円	△0.3%	-

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 連結損益の為替レート

1米ドル: 2025年3月期 上期実績 = 152.36円

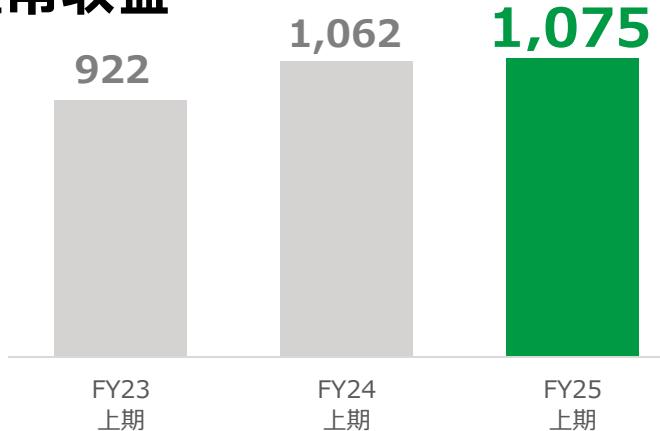
2026年3月期 上期実績 = 148.40円

2026年3月期計画 = 146.00円

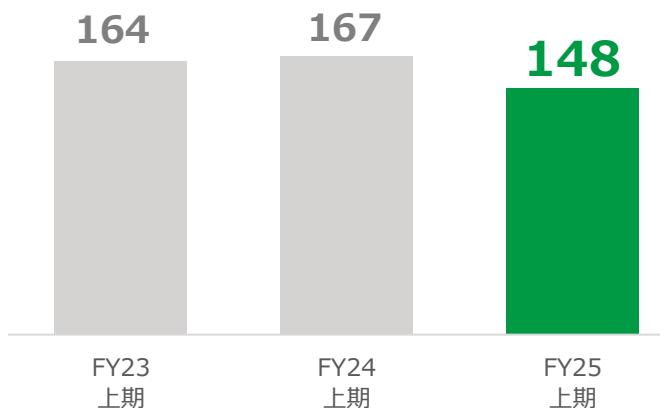
注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

2026年3月期第2四半期決算
業績推移【連結】

経常収益



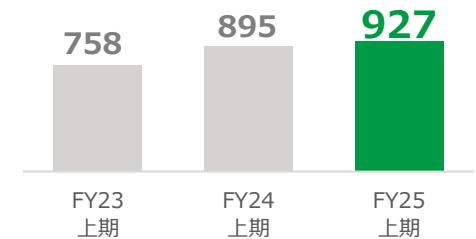
経常利益



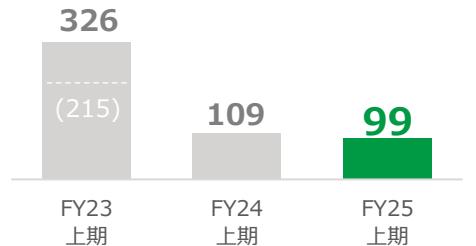
注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) 2023年度の親会社株主に帰属する中間純利益には、
株式会社セブン・カードサービスを連結子会社化したこと
に伴う特別利益「負ののれん発生益」215億円が含まれて
おります。

(単位：億円)

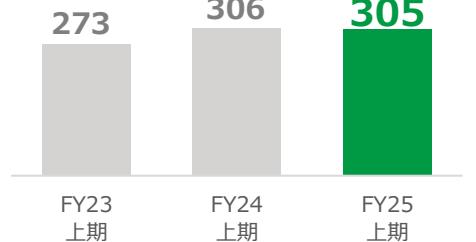
経常費用



親会社株主に帰属する 中間純利益



EBITDA



2026年3月期第2四半期決算

損益状況【セブン銀行単体】

経常収益

ローンや後払いサービス等の国内リテール事業の伸長に加え、ATM受入手数料も堅調に推移し**増収**

経常利益

ATM入替等に伴う減価償却費増加や国内リテール事業伸長に伴う資金調達費用・保証料の増加等を主因に**減益**

	当期実績	前年同期実績	前年同期比	計画比
経常収益	709億円	689億円	+2.9%	+2.0%
経常費用	569億円	518億円	+9.8%	+1.6%
経常利益	139億円	171億円	△18.7%	+2.9%
中間純利益	96億円	117億円	△17.9%	+6.6%
EBITDA	265億円	281億円	△5.6%	+3.5%

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

AGENDA

02

事業別主要計数

国内事業(ATM)

国内事業(ATM)

主要計数

ATM利用件数の推移

FY25上期総利用件数

560百万件

(+18百万件)

FY25上期平均利用件数

109.2件

(+1.5件)

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、

電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず

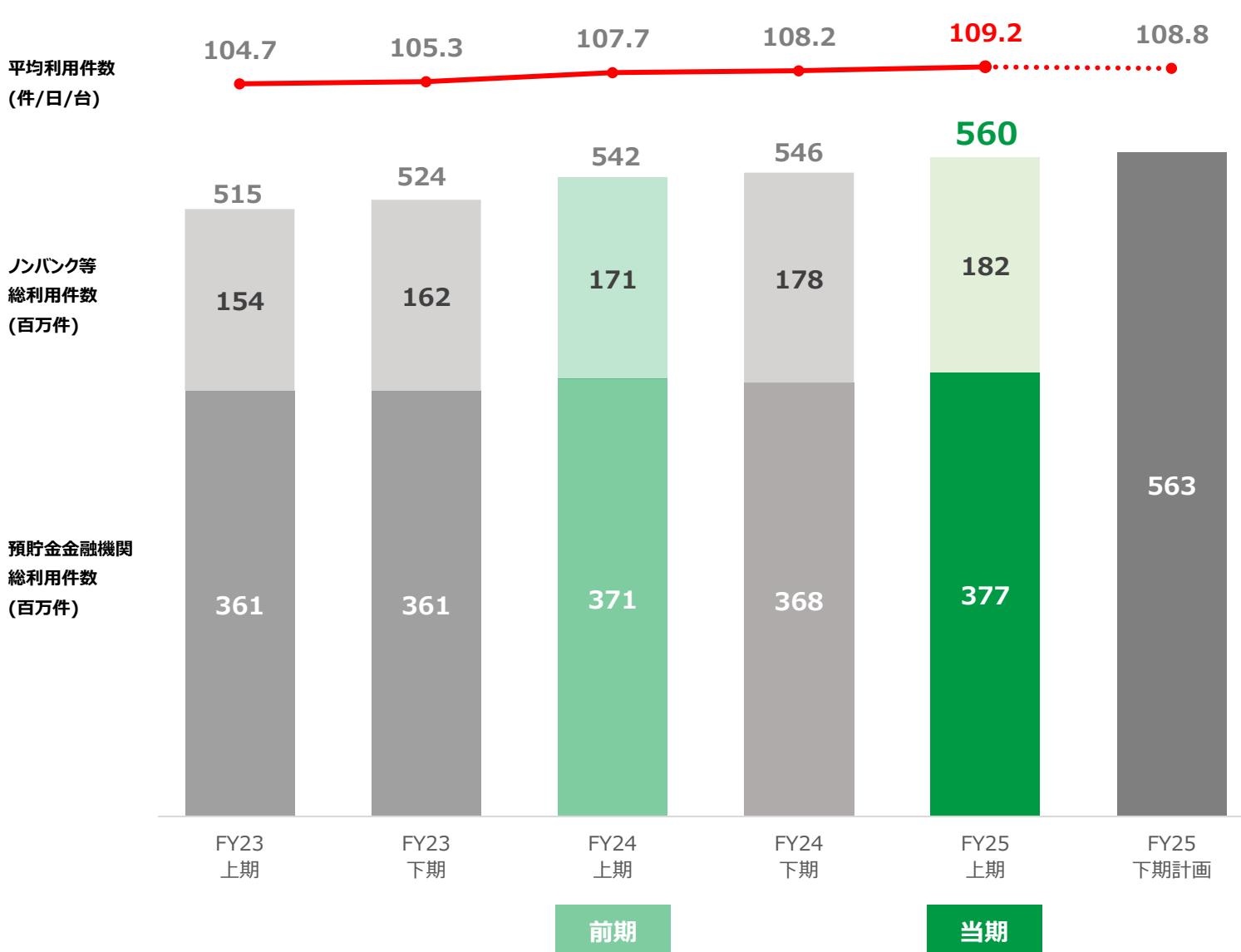
注5) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、

クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、

コード決済事業会社等の合計

注6) FY25上期のATM受入手数料単価105.2円

※ ATM受入手数料単価は、

ATM受入手数料 ÷ (総利用件数 - ATM受入手数料収入を
伴わない利用件数<売上金入金等>) で算出

国内事業(ATM)

主要計数

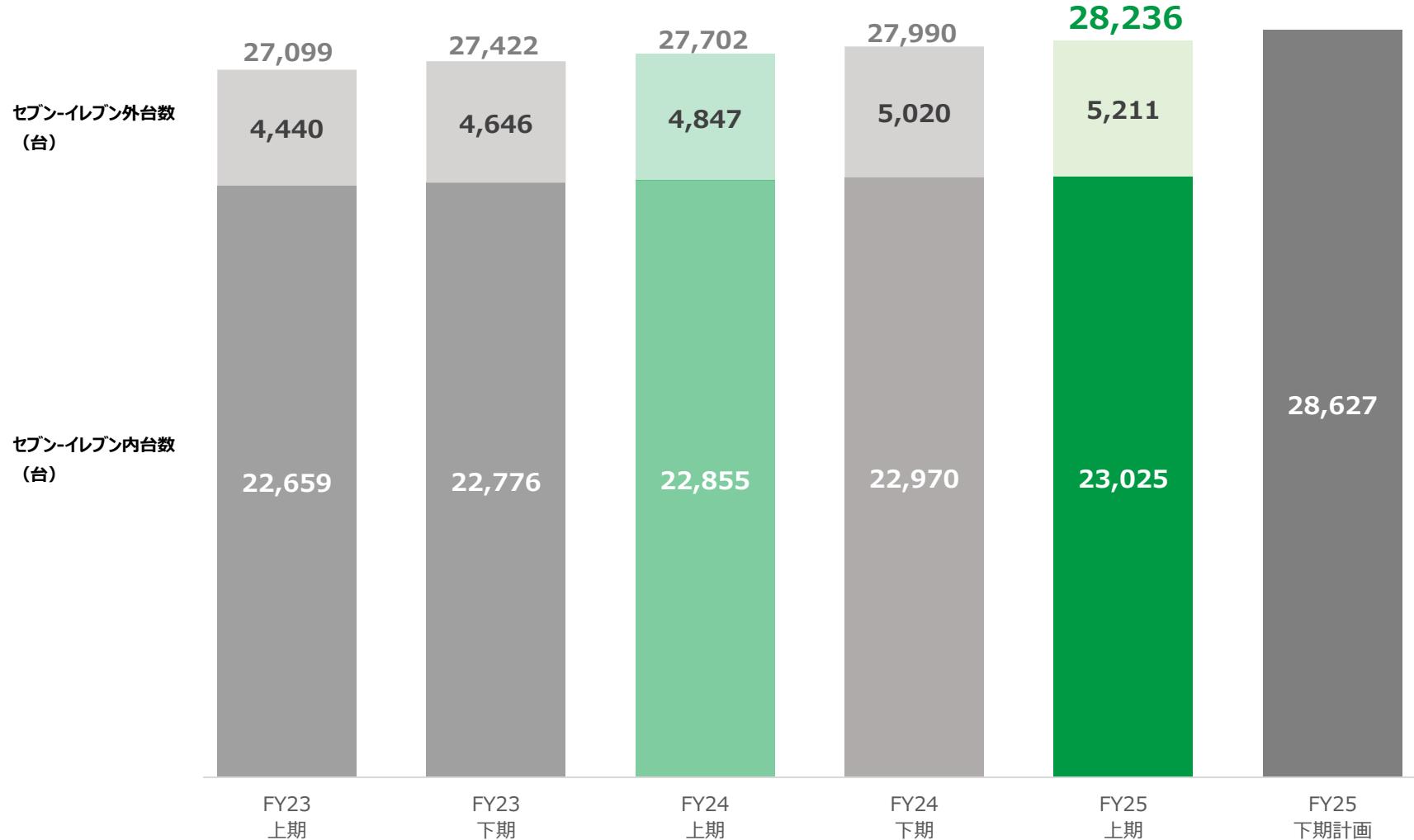
ATM期末台数の推移

ATM期末台数

28,236台
(+534台)

セブン-イレブン内
23,025台 (+170台)

セブン-イレブン外
5,211台 (+364台)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 今回より表示区分をセブン-イレブン内及びセブン-イレブン外に変更しております

前期

当期

国内事業（リテール）

国内事業(リテール)

主要計数

口座数と預金残高の推移(個人)

口座数

3,443千口座
(+ 268千口座)

口座数
(千口座)定期預金残高
(億円)

預金残高

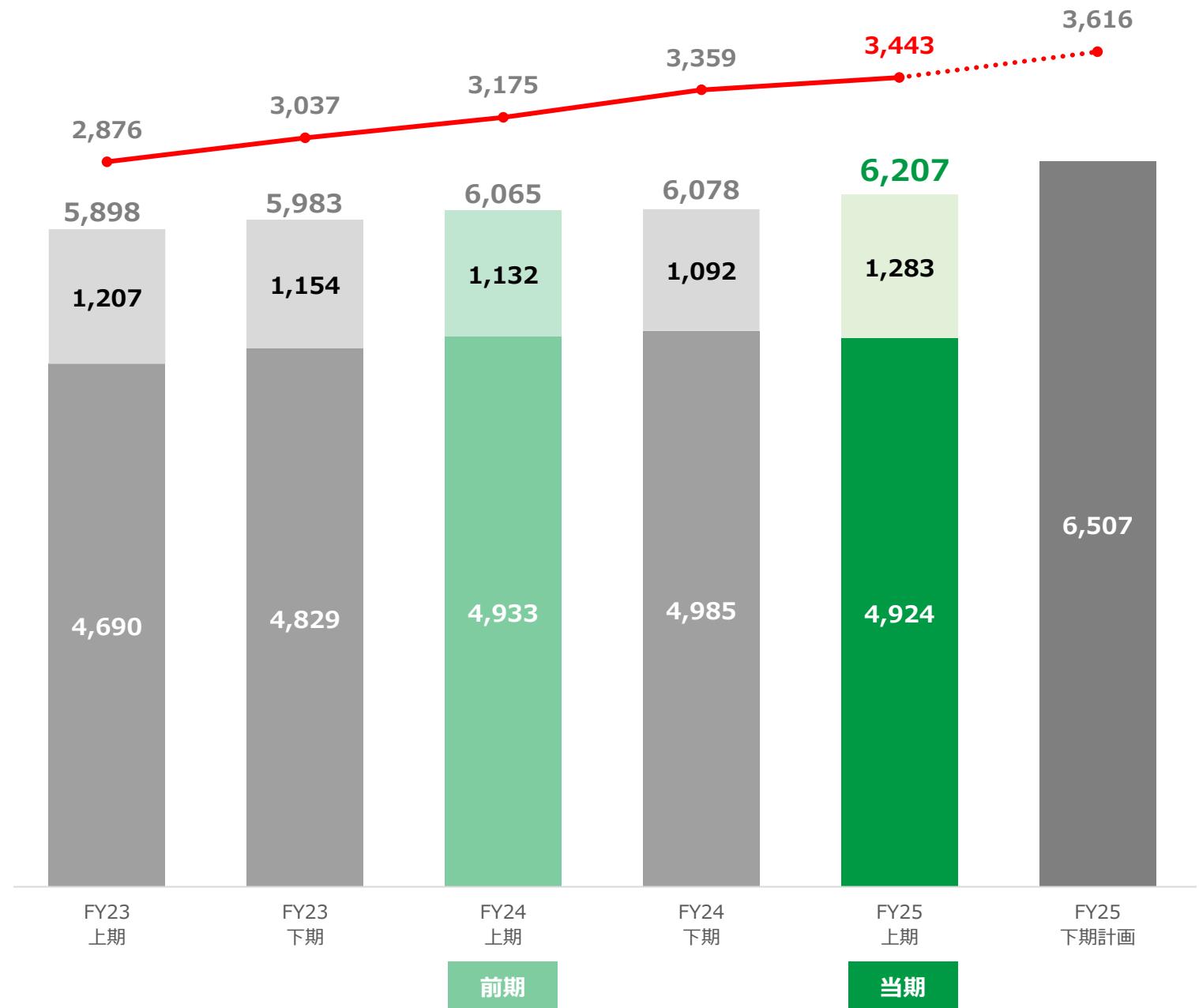
6,207億円
(+ 142億円)

普通預金残高
(億円)

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較



国内事業(リテール)

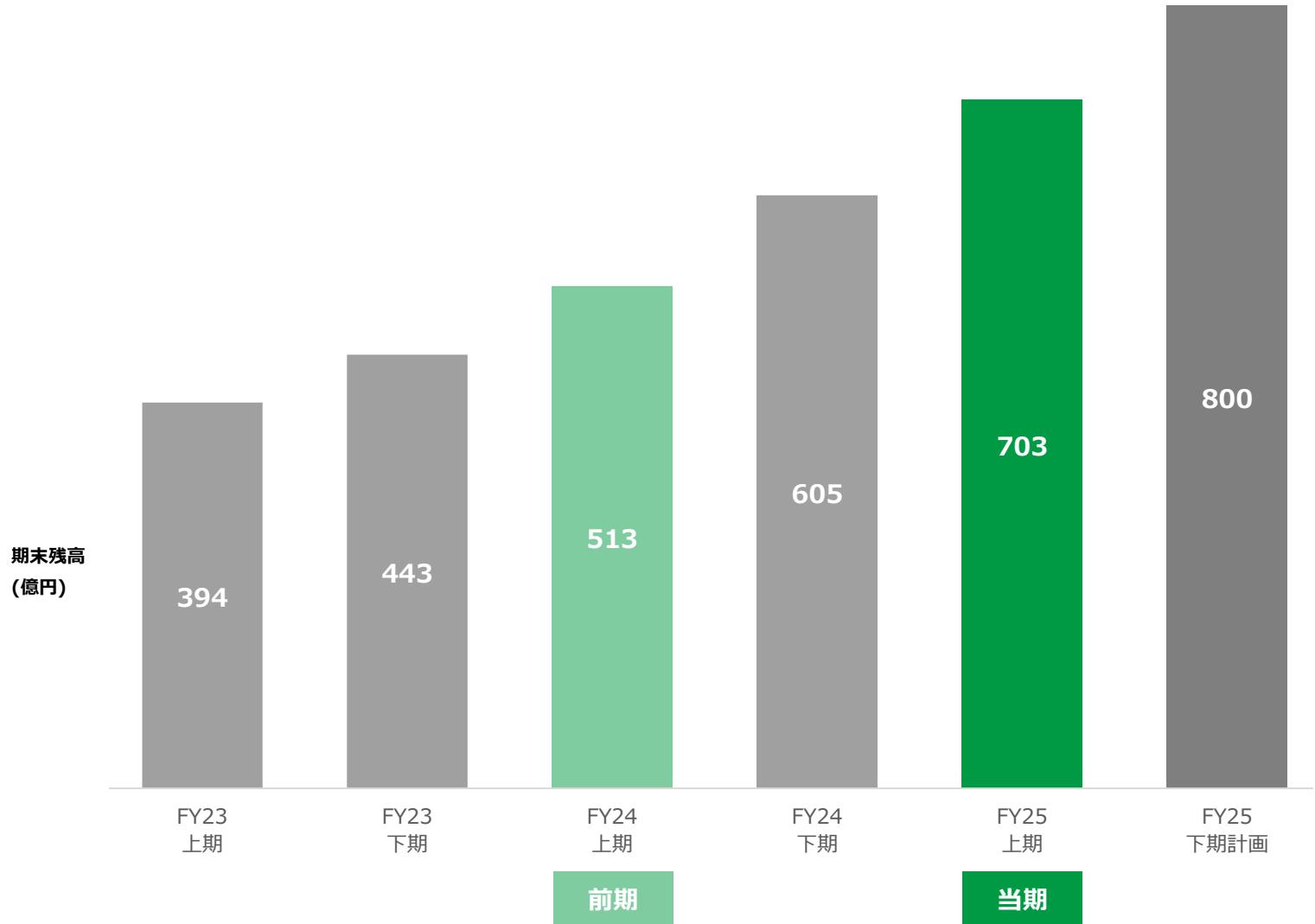
主要計数

個人向けローンサービス

期末残高

703億円

(+190億円)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) FY23上期の期末残高には、Credd Finance提供サービスも含む

国内事業(リテール)

主要計数

セブン銀行

後払いサービス

取扱件数

312.0万件

(+72.0万件)

取扱高

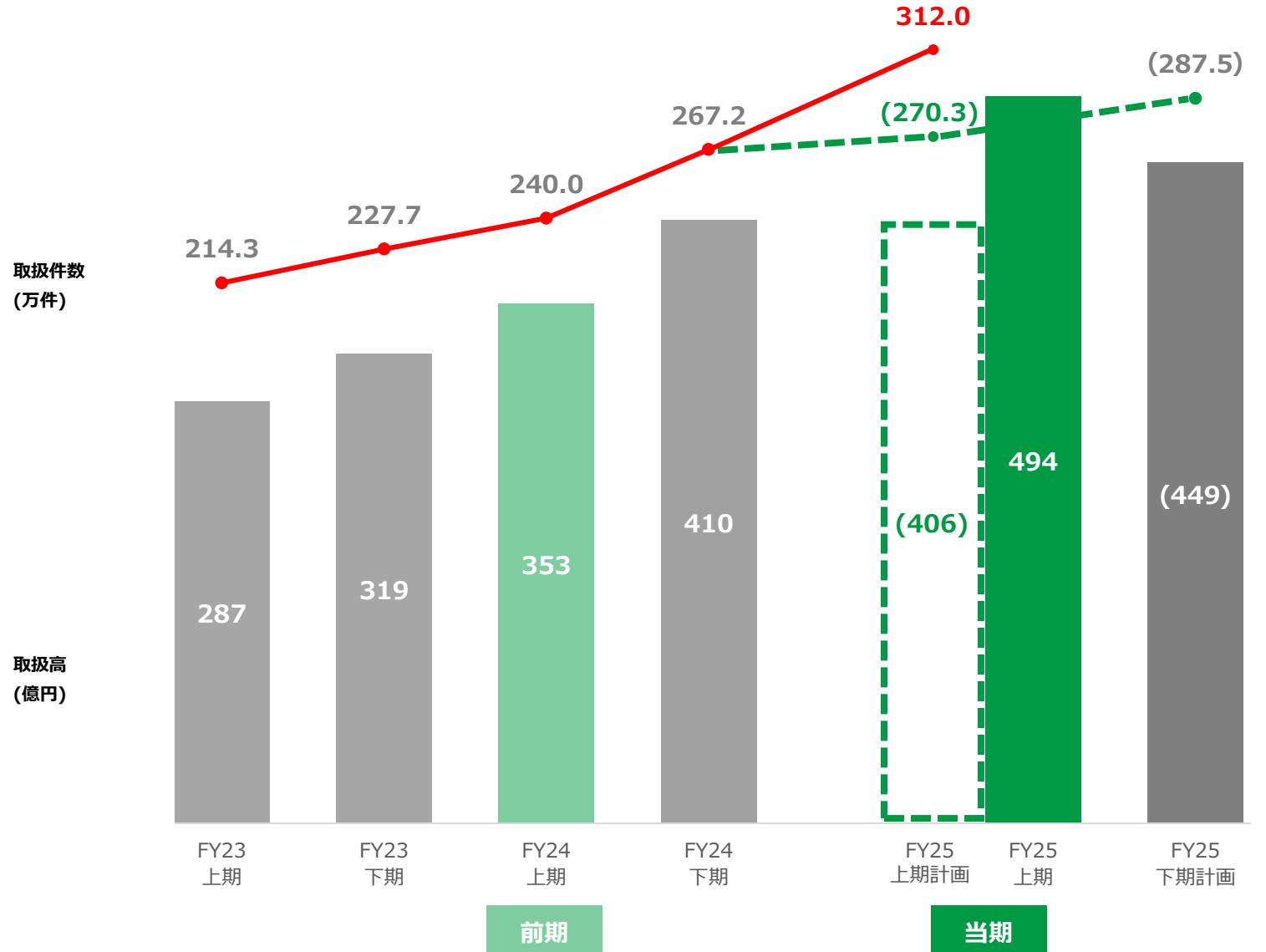
494億円

(+141億円)

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

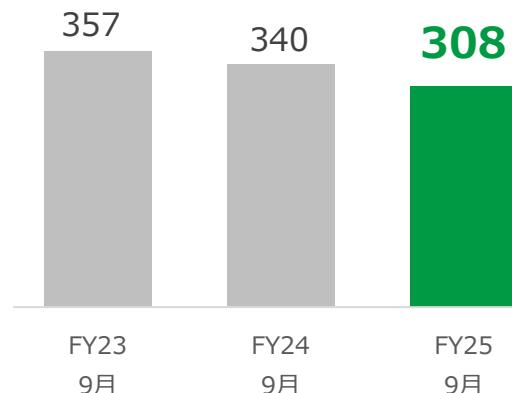
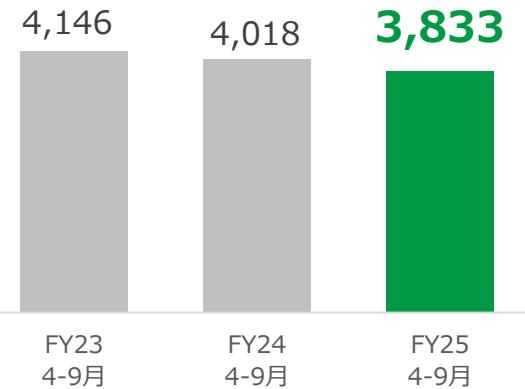
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較



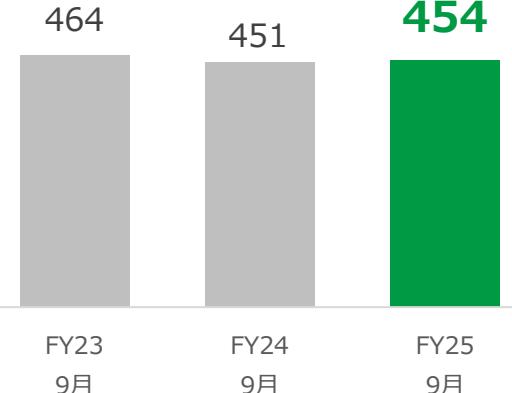
セブン・カードサービス

KPI

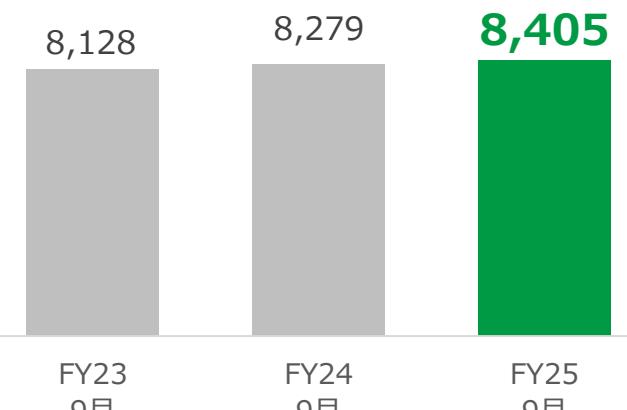
クレジットカード会員数（万人）

クレジットカード
ショッピング取扱高（億円）

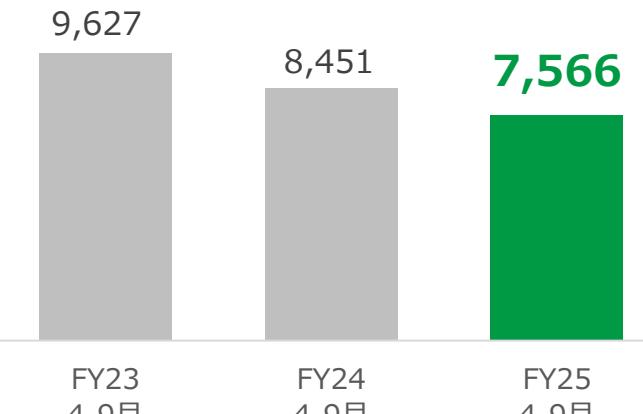
金融商品残高（億円）



電子マネー会員数（万人）



電子マネー取扱高（億円）



注) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

AGENDA 02 事業別主要計数

海外事業

(単位：百万件)

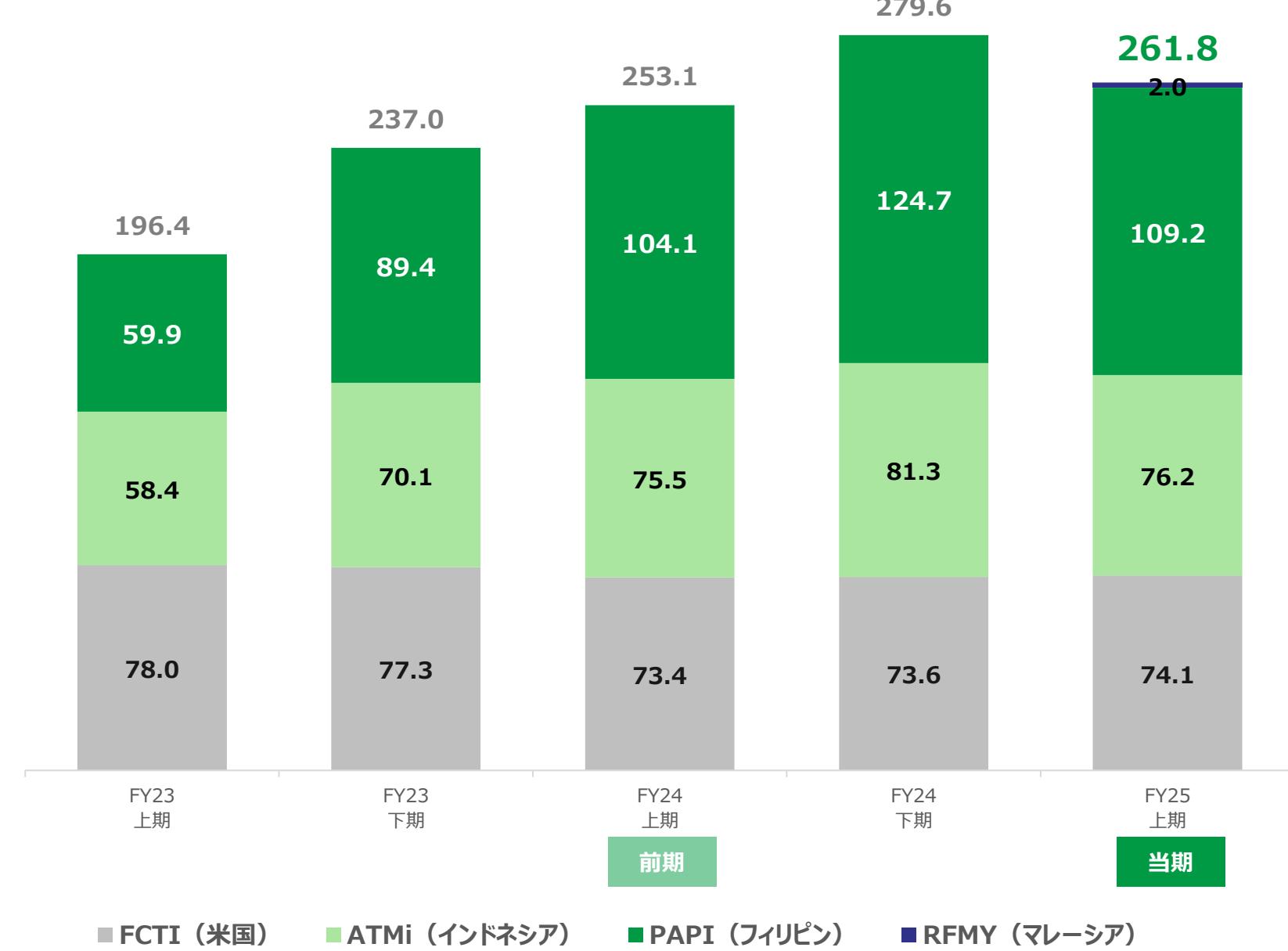
海外事業

ATM総利用件数の
推移

米国が件数増加に転じたものの、
インドネシア・フィリピンの伸び悩み
から総利用件数は緩やかな増加
にとどまる

FY25上期総利用件数
261.8百万件
(+8.7百万件)

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
- 注2) 本資料における計数は全て表示単位未溝切捨て
- 注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
- 注4) 米国、インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む
- 注5) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上金入金を除く
- 注6) マレーシアのATM利用件数には残高照会を含まない
- 注7) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)



海外事業

米国

台数増に加え、ATMネットワークの追加加盟による取引増で平均利用件数が反転、上期は計画比で大幅な黒字

Speedway店舗への設置が進展、下期の台数計画を修正

FY25_上期経常収益

133.1億円

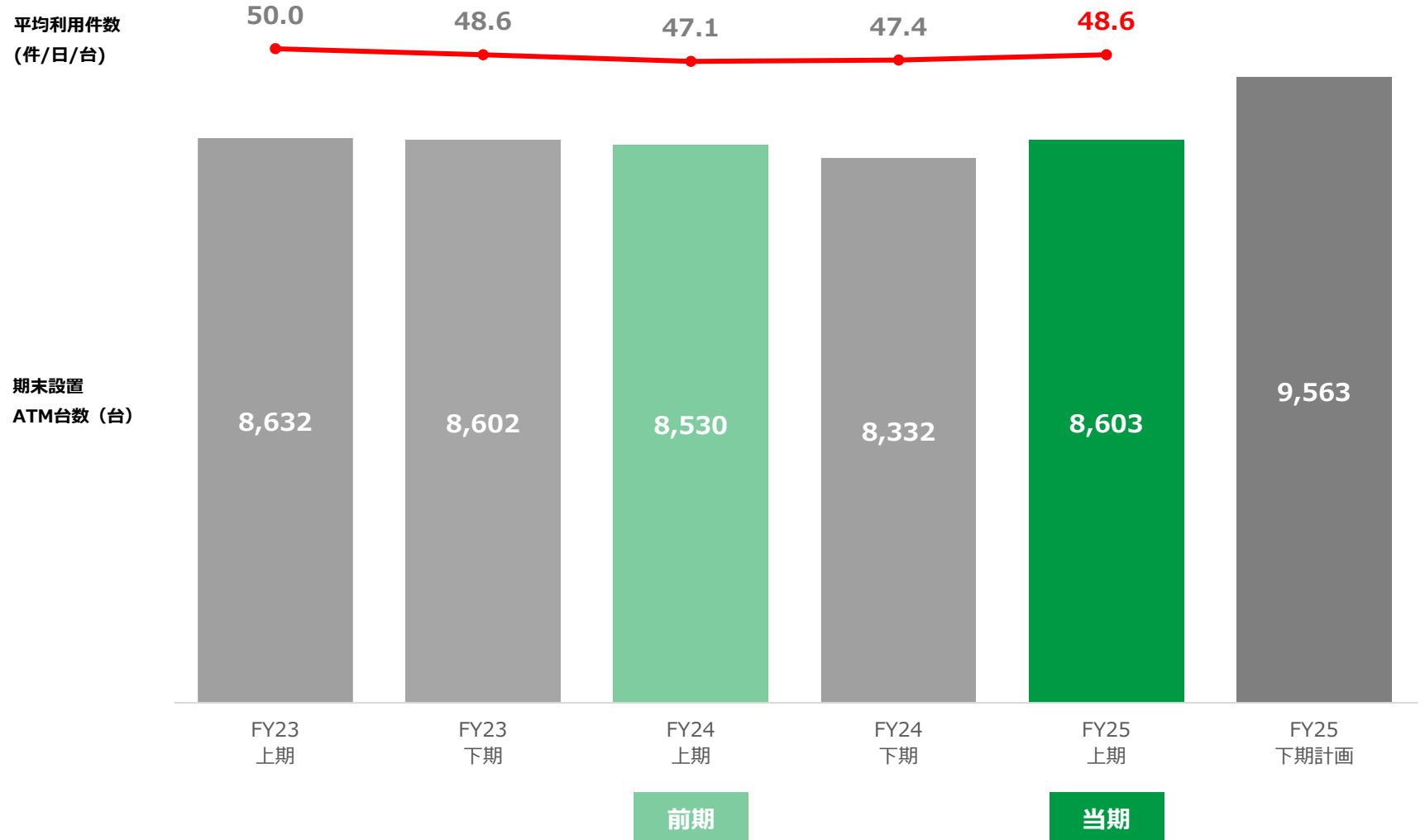
FY25_上期経常利益

12.9億円

**9月末ATM台数：
9,085台 (速報値)**

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)



海外事業

インドネシア

台数拡大戦略を見直し、不芳
ATMを撤去

カードレス取引の追加など台当た
りの利用件数向上戦略に注力

FY25_上期経常収益

38.7億円

FY25_上期経常利益

1.8億円

9月末ATM台数 :
8,933台 (速報値)

注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)

注3) 台数の速報値は受託設置を除く

平均利用件数
(件/日/台)



前期

当期

海外事業

フィリピン

大手提携行の顧客手数料
有料化により平均利用件数
が減少

オペレーションの改善や新規
提携先の拡大に注力

FY25_上期経常収益

41.4億円

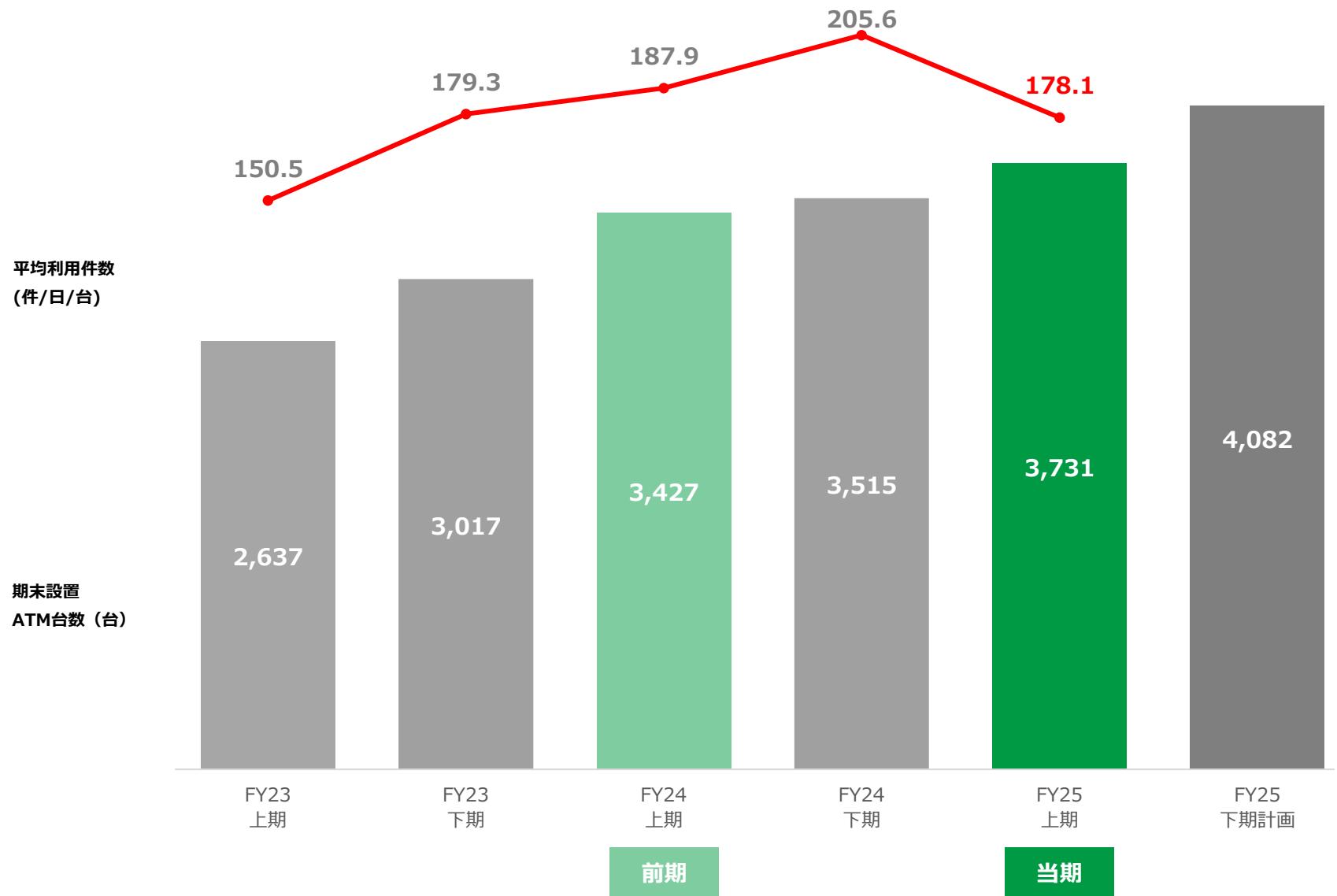
FY25_上期経常利益

2.0億円

**9月末ATM台数：
3,898台（速報値）**

注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上金入金を除く

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)



海外事業

マレーシア

今期計画の100台設置をほぼ達成

25年9月末ATM台数 :
97台 (速報値)

注1) マレーシアのATM利用件数には残高照会を含まない

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)



Reachful



ATM設置台数
95台
(2025年6月末時点)

ATM平均利用件数
208.0件
(2025年1月～6月)

AGENDA

03

2026年3月期 業績予想

業績予想【連結】

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前年比
連結経常収益	2,144億円	2,160億円	+0.7%
連結経常費用	1,841億円	1,915億円	+4.0%
連結経常利益	302億円	245億円	△18.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182億円	160億円	△12.0%

連結・単体ともに
通期予想は変更せず

- ✓ セブン銀行単体は、一時的要因を除くとほぼ計画線で推移
- ✓ クレジットカード会員の獲得計画は下期偏重、販促費を消化し計画達成を狙う
- ✓ 海外事業はアジアが低調も、米国事業が堅調

2026年3月期 配当予想

年間計画

11円

当初計画から変更なし

中間配当 1株あたり5.50円（実績）
期末配当 1株あたり5.50円（予想）

AGENDA

04

上期の振り返りと成長戦略

強みを磨く

ATM事業(国内・海外)

国内ATM事業：「+Connect」(プラスコネクト) は「サービス立ち上げ期」から「定着・拡大期」へ

+Connect

プラスコネクト

2023年9月～

ATM窓口 ATMお知らせ



2025年2月～

FACE CASH



New 2025年10月 サービス開始

ATM口座振替登録



< 基本合意先 (2025年9月時点) >

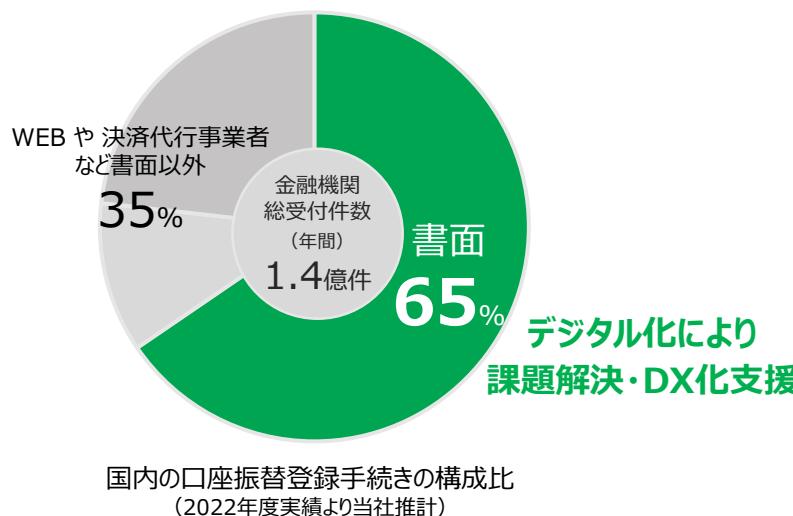
JCB

豊田市
Toyota City

MIZUHO

みずほファクター

MUFG
三菱UFJファクター



収納機関



QRコードをお客さまに発行

お客さま



QRとカード等を用いてお手続き

セブン銀行



取引情報をセキュリティチェック

収納機関

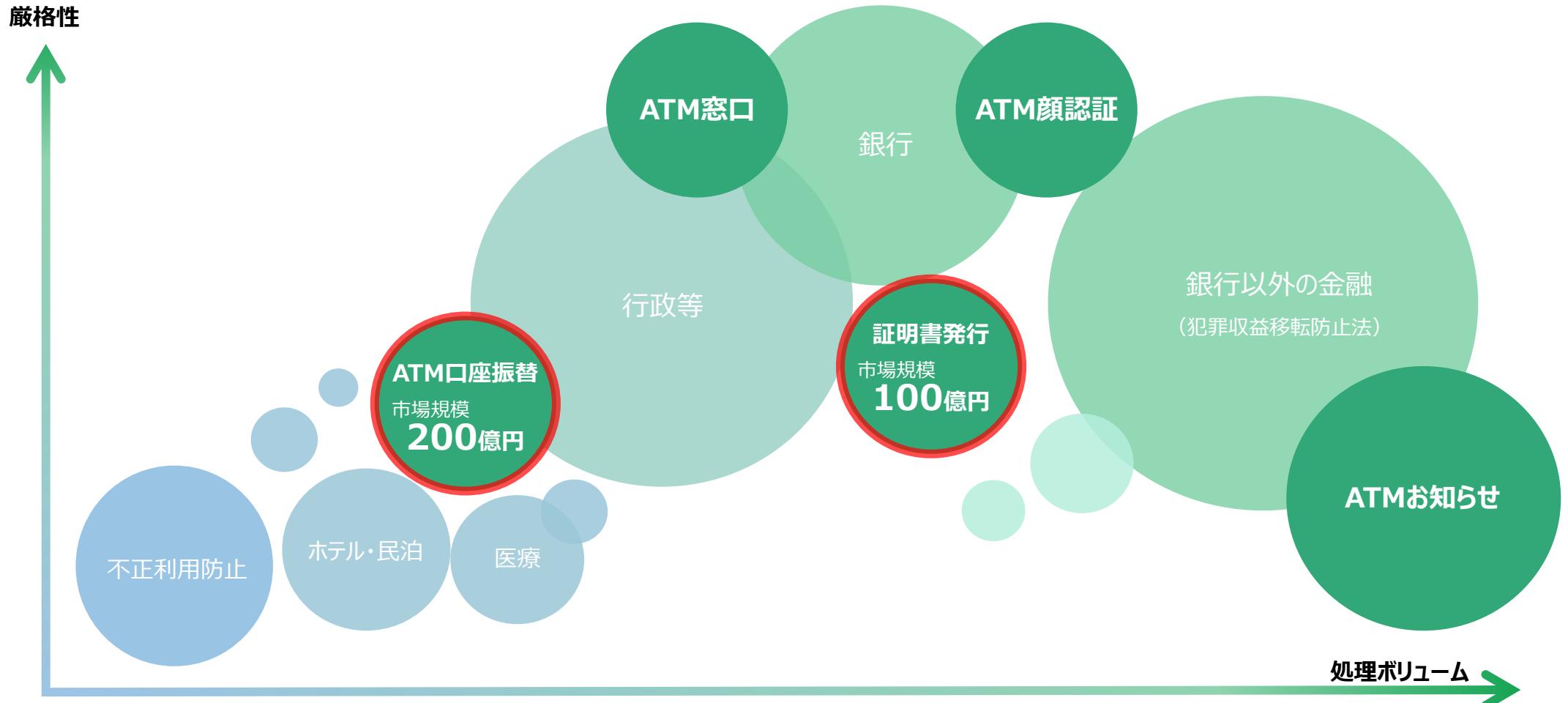
金融機関

取引情報を連携、登録完了

注) QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。

国内ATM事業：「+Connect」(プラスコネクト)は順次サービスを拡充し、事業規模を拡大

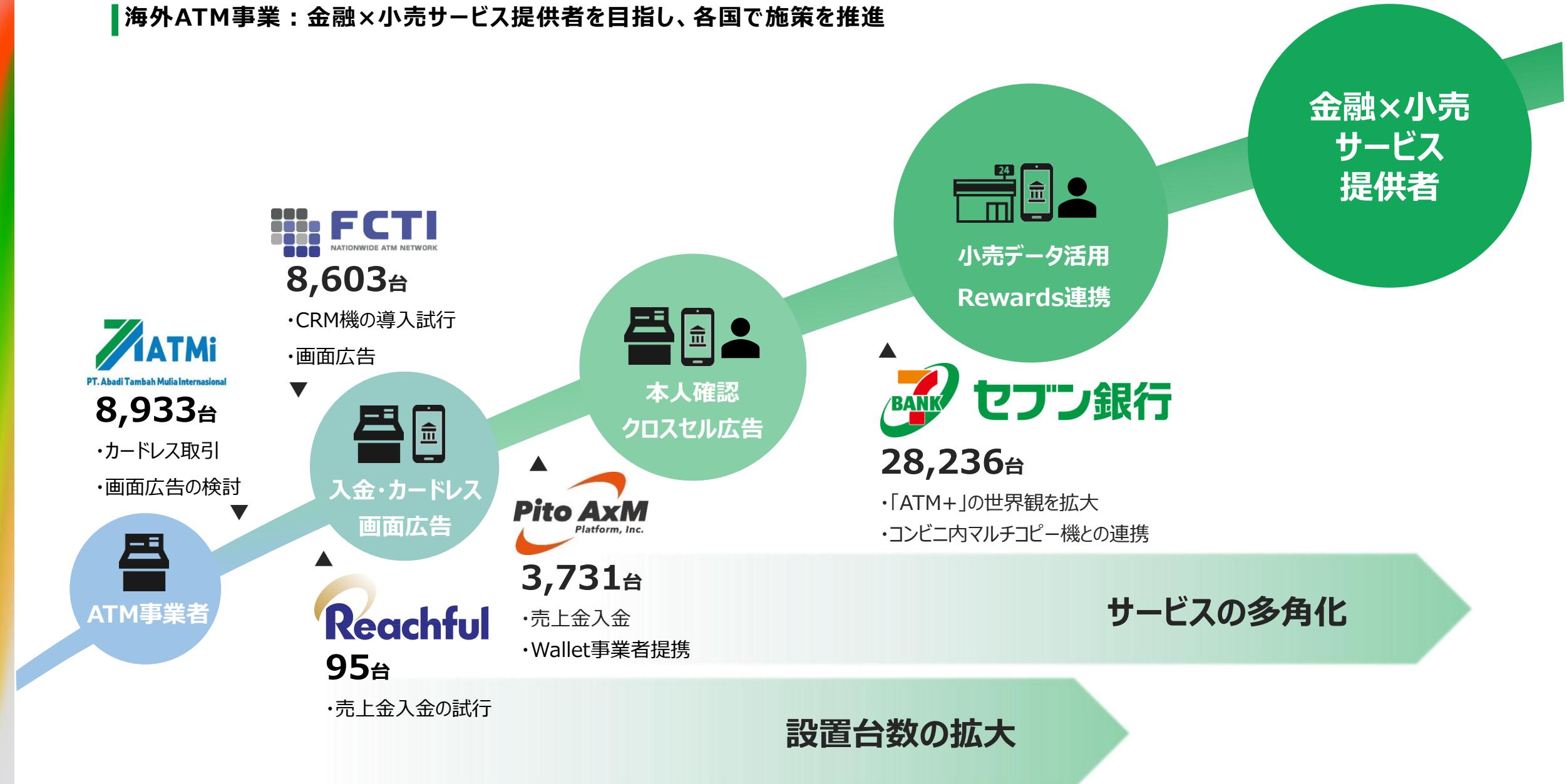
マーケットポテンシャル = 約4兆円~/年



注1) マーケットポテンシャルは、法令又は自主ルール上、本人確認業務を必要とする業種・業界を選定したうえで、販管費のうち営業人件費/ファシリティ費が占める割合を参照。算出した事務処理コストを合算し、マーケットポテンシャルと定義

注2) 市場規模は、推定サービス単価と件数を基に算出した金額であり、マーケットポテンシャルとは算出方法が異なる

海外ATM事業：金融×小売サービス提供者を目指し、各国で施策を推進



強みを磨く

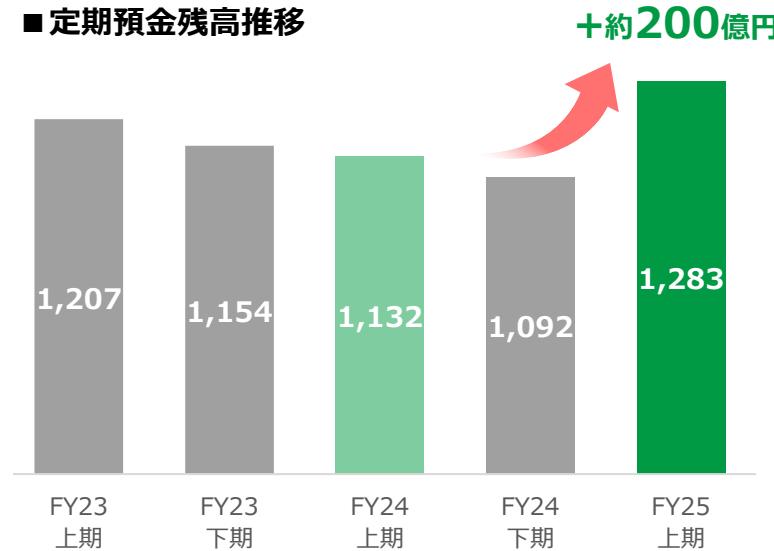
リテール事業（口座）

預金獲得競争激化も、金利キャンペーンやセブン銀行らしいリワードプログラムによる預金増加を目指す
カードローン残高は広告の高度化等により着実に積み上げ

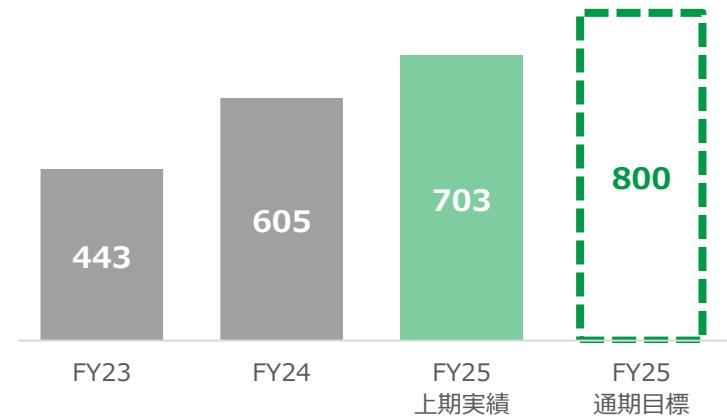
- 定期預金キャンペーンにより、25年3月末比で**約200億円の定期預金を獲得**



■定期預金残高推移



- カードローンは上期目標達成、通期目標の800億円を目指す



- 更なる拡大に向けた施策の検討開始



金利+ユニークな
特典で預金獲得を目指す

UI・UXの磨き上げ

スマホですぐ借りられる
ATMで簡単に返せる

広告強化

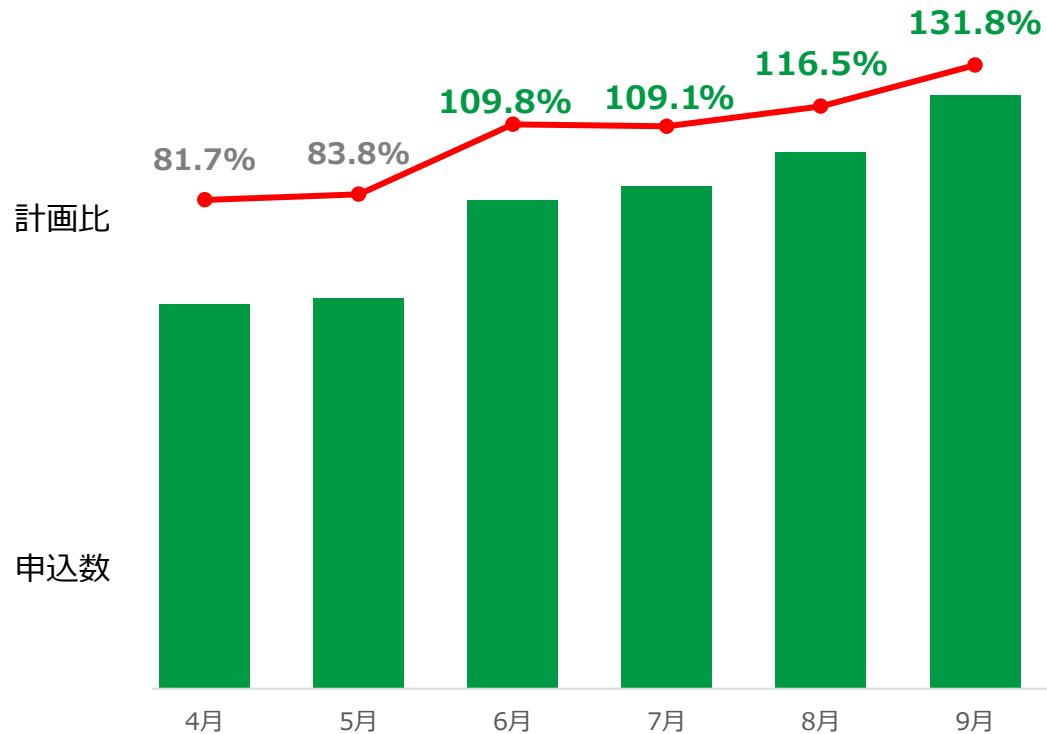
オウンドメディアの
有効活用



未来への布石 リテール事業（クレジットカード）

足元の会員数拡大と2026年度の新クレジットカード発行に向けて、幅広い施策に取り組む

■ 上期はクレジットカード申込数計画を上回って推移



ポイント還元施策やWeb広告の改善・強化による申込数増加に加え、ファイナンスサービスの利用も好調

■ 会員数拡大に向けた施策の実施

商品性改善

✓ スマホ決済へポイント還元拡大

2025年8月16日よりApple Payでのタッチ決済もポイント還元施策の対象に



マーケティング

✓ Web広告の強化

✓ SNSマーケティング強化

✓ セブン-イレブン・ジャパンとの協業



今年度の獲得目標達成に加え、来年度の新クレジットカード発行に向けた土台作りを行う

未来への布石 目指すべき事業ポートフォリオの検討

伊藤忠商事株式会社と資本業務提携契約を締結

ATMやリテール金融サービスのノウハウを、伊藤忠商事のビジネス基盤と連携させ、新たな金融サービスの創出・提供を目指す

■ 伊藤忠商事との提携

【業務提携】

- ✓ 2026年度以降、「ファミリーマート」店舗内にセブン銀行ATMを設置開始
- ✓ クレジットカード事業、決済事業、その他金融事業等に関する業務提携及び資本提携を引き続き協議

【資本提携】

- ✓ 自己株式処分により、伊藤忠商事に16.35%の当社株式を割当(議決権比率基準)
- ✓ その後、伊藤忠商事は市場買付等による追加買付を実施し、当社議決権20%の株式を保有予定
(関係当局の許認可等の取得を前提)

■ 資本関係の変化

株式会社セブン&アイ・ホールディングス
(株式会社セブン-イレブン・ジャパン)

伊藤忠商事株式会社

議決権比率
33.40%

議決権比率
16.35%→(20.0%)

株式会社セブン銀行

注) 議決権比率は、2025年9月30日現在の議決権数9,806,521個に、本自己株式処分により増加した議決権の数1,917,000個を加算した
11,723,521個を基準に算出

目指す姿：金融サービスプラットフォーマーとして更なる成長を目指す

日々の生活に最も身近な存在として、
コンビニエンスストアを核に、
現金からキャッシュレス決済・あらゆる手続きまで
あらゆるお客様のニーズに対応できる
金融サービスプラットフォーマーとしての
提供価値を追求する



総括

持続的な成長に向けて

2024年に再策定した5つの重点課題をもとに引き続き社会課題解決と企業価値創造の両立を目指す

5つの重点課題



根源的価値：
いつでも安心・安全に使える
社会インフラを提供する



社会的価値：
誰でもどこでもアクセスできる
多様なサービスを実現する



新たな価値創造：
お客様の期待を超えたユニークな価値を創る



価値創造の源泉：
誰もが活躍できる社会づくりを進める



将来への価値創造：
豊かな社会と地球の未来に貢献する



西京銀行への「+Connect」提供開始 (2026年4月予定)

- ✓ 「ATMお知らせ」と「ATM窓口」サービスを提供予定
- ✓ 西京銀行の店舗内外の全ATMについて、セブン銀行との共同設置の検討開始



重点課題のKPI(2025年7月公表、一部抜粋)

育児休業復帰率
100%

女性管理職比率
2030年までに**30%以上**



ATMリサイクル率
約**100%**

自己変革と企業変革を促す人財の育成に取組み、企業価値の向上を目指す

常に自らをアップデートできる
主体性の高い自律型人財



技術とビジネスを
つなげる力



ユニークな発想を
実現する力

人的資本の強化

データマネジメントオフィス
(データ利用推進活動)

BIツールのMAU率 **67%**

7Bank-Brain
(社内生成AI) 活用

社員に占めるMAU率 **69%**

知的資本の強化



10月に経済産業省が定める
DX認定制度に基づく
「DX認定事業者」としての認定を取得

ノーコード開発

社内アプリ開発数 約**90**個

社会関係資本の強化



社員のワクワクを起点に新たな事業を
創り出す『社内イノベーションプロジェクト』



企業価値
向上

自己の成長と事業成長への貢献を実感することで、個人と会社の「共成長」を実現

上期の成果を踏まえ、下期は持続的な成長に向け各事業での取り組みをさらに強化

2025年度上期の取り組み・成果

強みを磨く

ATM事業（国内・海外） 質の向上・面の拡大

- ✓ +Connectブランドで非現金領域のサービス拡大、ATM口座振替登録等の新サービスをリリース
- ✓ 地方銀行のATM一括代替受託で台数拡大
- ✓ 海外は各国の状況に応じた施策を推進

リテール事業（口座） 預金・ローン残高の積み上げ

- ✓ 定期預金キャンペーンで固定性の預金を積み上げ
- ✓ ローン残高は計画通りに伸長

未来への布石

リテール事業（クレジットカード） 利便性の訴求で収益拡大機会を創出

- ✓ クレジットカード発行数・金融商品残高は計画を上回って推移
- ✓ 差別化戦略は継続検討

目指すべき事業ポートフォリオの検討 新規ビジネスの探索

- ✓ 伊藤忠商事との資本業務提携により、コンビニを核とする小売流通の「金融サービスプラットフォーマー」を目指す

AGENDA

05

APPENDIX

APPENDIX

(単位：億円)

損益計算書【連結】

	2025年3月期		2026年3月期			計画 通期	
	実績		上期実績	前年差異	計画差異		
	上期	通期					
経常収益	1,062	2,144	1,075	13	15	2,160	
経常費用	895	1,841	927	32	△8	1,915	
経常利益	167	302	148	△19	23	245	
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	109	182	99	△10	19	160	
EBITDA	306	594	302	△4	—	—	

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2025年3月期 上期実績 = 152.36円、2026年3月期 上期実績 = 148.40円、2026年3月期計画 = 146.00円

注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

APPENDIX

損益計算書【セブン銀行単体】

APPENDIX 損益計算書【セブン銀行単体】	2025年3月期		2026年3月期			
	実績		上期実績	前年差異	計画差異	計画
	上期	通期				通期
経常収益	689	1,357	709	20	14	1,400
うちATM受入手数料	569	1,134	576	7	1	1,150
経常費用	518	1,084	569	51	9	1,155
うち資金調達費用	3	11	10	7	△1	25
うちATM設置支払手数料	89	177	90	1	0	181
うち業務委託費	129	265	133	4	△3	277
うち保守管理費	19	38	16	△3	△2	38
うち減価償却費	109	231	125	16	4	251
経常利益	171	273	139	△32	4	245
特別損益	△2	△21	△1	1	2	△5
法人税等合計	51	74	42	△9	2	75
純利益	117	176	96	△21	6	165
EBITDA	281	504	265	△16	9	496
期末ATM設置台数（台）	27,702	27,990	28,236	534	△61	28,627
ATM受入手数料単価（円）	107.4	106.5	105.2	△2.2	△0.1	104.5
平均利用件数（件/台/日）	107.7	108.0	109.2	1.5	0.7	108.6
総利用件数（百万件）	542	1,089	560	18	1	1,122
海外送金サービス取引件数（千件）	328	660	326	△2	△7	693
デビットサービス取引件数（千件）	11,199	22,782	12,260	1,061	△1,340	29,632

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較 注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【セブン・カードサービス】

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期			計画	
	実績		上期実績		前年差異		
	上期	通期					
経常収益	14,821	32,529	13,900		△921	35	29,560
うちクレジットカード事業	7,366	15,052	6,999		△367	0	14,594
うち電子マネー事業	7,454	17,476	6,901		△553	35	14,966
経常費用	13,893	29,834	14,750		857	△1,245	32,590
うちクレジットカード事業	7,178	16,208	8,599		1,421	△987	19,792
うち電子マネー事業	6,714	13,625	6,151		△563	△258	12,798
経常利益	928	2,694	△849		△1,777	1,281	△3,030
純利益	814	830	△1,029		△1,843	1,101	△3,030

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) セブン・カードサービス（以下、7CE）は、付与したポイントが失効した際に、失効したポイント分の金額を収益（ポイント失効益）として計上しております。2025年3月期に発生したポイント失効益のうち、一時的な事業に係るポイント失効益については「その他の特別利益」として1,057百万円計上いたしました。

注4) 7CEは、自社を取り巻く環境及び今後の業績の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩し、2025年3月期において、2,700百万円を法人税等調整額に計上いたしました。

(単位：百万米\$)

APPENDIX
損益計算書【FCTI単体】

	2024年12月期		2025年12月期			
	実績		上期実績 (1-6月)			計画 通期
	上期	通期		前年差異	計画差異	
経常収益	87.4	177.7	89.7	2.3	6.7	176.3
経常費用	96.7	180.7	81.0	△15.7	0.8	166.7
うち資金調達費用	17.1	32.7	13.6	△3.5	△1.7	27.3
うちATM設置支払手数料	39.4	72.9	30.9	△8.5	0.0	64.7
うち業務委託費	11.8	20.9	8.6	△3.2	0.6	18.0
うち保守管理費	8.9	17.7	9.1	0.2	0.3	19.4
うち減価償却費	2.0	3.2	1.5	△0.5	0.1	4.0
経常利益	△9.3	△3.0	8.7	18.0	5.9	9.6
特別損益	△0.1	△0.1	△0.0	0.1	△0.0	0
純利益	△9.6	△3.3	8.5	18.1	5.8	9.4
EBITDA	△7.3	0.1	10.3	17.6	6.1	13.6
期末ATM設置台数（台）	8,530	8,332	8,603	73	—	9,563
平均利用件数（件/台/日）	47.1	47.2	48.6	2.5	—	47.9
総利用件数（百万件）	73.4	147.0	74.1	0.7	—	153.8

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

(単位：百万円)

損益計算書【主要子会社】



	2024年12月期		2025年12月期			
	実績		上期実績 (1-6月)	前年差異	計画差異	計画
	上期	通期				通期
経常収益	4,093	8,446	3,873	△220	△382	8,005
経常費用	3,696	7,510	3,685	△11	△140	7,395
経常利益	396	936	187	△209	△243	610
純利益	390	718	185	△205	△245	475

(単位：百万円)



	2024年12月期		2025年12月期			
	実績		上期実績 (1-6月)	前年差異	計画差異	計画
	上期	通期				通期
経常収益	3,818	8,151	4,145	327	△60	8,695
経常費用	3,633	7,844	3,936	303	16	8,200
経常利益	185	306	208	23	△77	495
純利益	140	207	159	19	△56	370

注1) 為替レート

100インドネシアルピア 2024年12月期上期実績 = 0.957円、2025年12月期上期実績 = 0.904円、2025年12月期計画 = 0.883円

1フィリピンペソ 2024年12月期上期実績 = 2.673円、2025年12月期上期実績 = 2.600円、2025年12月期計画 = 2.519円

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)



経常収益

経常費用

経常利益

純利益

2025年3月期		2026年3月期			
実績					計画
上期	通期	上期実績	前年差異	計画差異	通期
1,754	3,551	1,861	107	46	3,785
1,899	3,700	1,901	2	121	3,585
△144	△149	△40	104	△75	200
△163	△170	△72	91	△102	170



経常収益

経常費用

経常利益

純利益

2025年3月期		2026年3月期			
実績					計画
上期	通期	上期実績	前年差異	計画差異	通期
429	879	516	87	91	950
463	920	502	39	△118	1,265
△33	△41	13	46	208	△315
△285	△437	△153	132	42	△315

株式会社

セブン・ペイメントサービス

セブン銀行100%子会社

経常収益

経常費用

経常利益

純利益

2025年3月期		2026年3月期			
実績					計画
上期	通期	上期実績	前年差異	計画差異	通期
369	819	398	29	13	805
296	629	270	△26	△35	630
73	190	128	55	48	175
61	141	91	30	31	120

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。